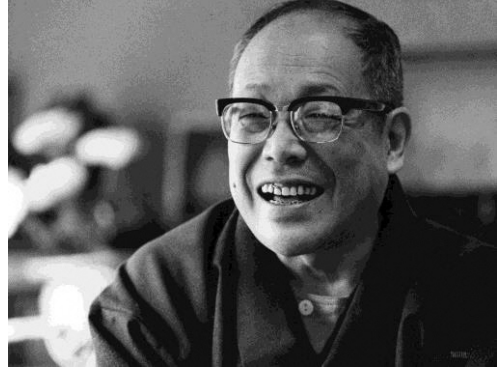


特定非営利活動法人 中村元記念館東洋思想文化研究所



山陰と世界を結び 地域に貢献する現代の寺小屋



団体の活動、セールスポイント

●中村元博士と中村元記念館

中村元(1912-1999)博士は、島根県松江市殿町出身の哲学者です。博士の業績はインド哲学や仏教学の研究を中心として 1500 点にも及び、平成元年には「東洋思想研究の世界的権威」として松江名誉市民をおくられました。博士は、それまで漢文からの翻訳でなされていた仏教研究を、よりブッダの時代に近い古代インドの記録にまで遡り、歴史上の人物としてのブッダの実像を明らかにされました。また博士は、ブッダについて後の時代に作られた宗教的な神話や伝説を取り除き、「人がどのように生きるべきか」を説いたブッダの言葉を、より多くの人に向けて、わかりやすい日本語に翻訳されました。また世界平和に向けた願いから、異なる文化を理解する必要性を説き、比較思想という日本では前例のない新しい学問分野を開拓されました。現在においても戦後日本を代表する学者の1人とされています。

中村元記念館は博士の生誕百年を節目として、2012年に開館いたしました。博士の3万冊を超える蔵書の一部や、手書きの原稿、愛用品などを展示公開し、博士の故郷である松江市民の皆様をはじめとして、博士をより知りたいと思う皆様に場所を提供しております。



寄附を受けて取り組みたい事業

これまでに寄附を活用して実施した事業

●誰でも学べる公開講座

中村博士は、「学問の独立をたもつためには、大学を離脱しなければいけない」との考えから、「東洋思想の研究およびその成果の普及」を目的として「財団法人東方研究会」を創立され、東京大学退官後には、学歴、年齢、職業、性別にとらわれない、多くの人に開かれた自由な学問の場として公開講座「東方学院」を開講されました。中村元記念館ではその理念を継承すべく、歴史学・文学・宗教学など伝統的な学問を学べる「東方学院松江校」、アジアの音楽、香道、出雲神楽など文化について知ることができる「中村元記念館文化講座」、所属する研究員が中村元、宮沢賢治、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)など多彩な人物やテーマで話す「中村元思想文化カフェ」など3つの公開講座を開講しております。



団体の目標

- ① 「東洋思想研究の世界的権威」として松江名誉市民をおくられた中村元博士を顕彰し、その業績を蔵書・愛用品などを通じ、多くの皆様を知っていただくこと目標としています。
- ② 松江市に寄贈された故中村元博士の蔵書約3万4千冊を、散逸させることなく次の時代に伝えるため、時代に合わせ適切に管理します。
- ③ 歴史的人物としての中村博士の姿を知っていただくべく、中村元博士の遺された直筆原稿、手記などから、中村博士ご自身の人・思想についての研究を進めます。
- ④ 戦後日本を代表する学者としての中村博士の学問分野を開拓すべく、インド哲学・仏教学、歴史・文学などを中心として公開講座・講演会などを実施いたします。
- ⑤ 中村博士が土ご自身の研究に託された「世界平和」について学問を通じて考えていきます。

特定非営利活動法人
中村元記念館東洋思想文化研究所
理事長 清水谷 圭
〒690-1404
島根県松江市八束町波入 2060 番地
松江市八束支所2F
TEL 0852-76-9593 FAX 0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/

団体から寄附者へのPR

皆様からのご支援により、令和元年度は、博士の約 60 年分の日記を、劣化を防ぐための専用保存箱へ納めました。その他、博士の原稿や書簡を保存するケース(中性紙)や、カビやウイルス・防虫対策にも力をいれました。大切な資料はまだ膨大にあり、資料箱はまだ必要です。皆様の更なるご支援をお待ちしております。